

## 第 80 回 横須賀市環境審議会（書面開催）議事録

横須賀市環境審議会  
委員長 奥 真 美

下記のとおり、第80回横須賀市環境審議会を書面にて開催し、横須賀市環境審議会規則第4条の規定に基づき、委員から意見等を聴取しました。

### 記

#### 1 開催方法

委員へ会議資料を送付し、書面により意見等を聴取した。

- (1) 資料送付日 令和6年2月20日(火)
- (2) 意見等聴取期間 令和6年2月20日(火)～令和6年2月26日(月)

#### 2 出席者（書面確認書の返信があった委員）16人

奥委員長、飯島委員、今井委員、小原委員、笥委員、川久保委員、川名委員、木本委員、島野委員、高梨委員、名執委員、長谷川委員、林委員、松本委員、松行委員、矢部委員

#### 3 会議成立要件

委員18人のうち16人が出席のため、横須賀市環境審議会規則第4条の規定に基づく会議開催の成立要件（委員の半数以上）を満たし、会議は成立した。

#### 4 会議内容

##### (1) 議 事

議題1 [諮問]「ゼロカーボンシティよこすか2050アクションプラン」の見直しについて

議題2 計画の見直し及び条例改正に係る部会の設置について

⇒上記2件について、出席委員から確認した旨の回答をいただくとともに、内容について、意見の聴取を行った。

##### (2) その他（連絡事項）

今後のスケジュールについて

#### 5 提出された意見等

別紙のとおり

**<議題 1> 「ゼロカーボンシティよこすか 2050 アクションプラン」の見直しについて****■小原委員**

2029年までに42%削減というのは国内全国平均でも高い数字とは言えなかったと思います。かつ市域の削減目標が43%であるにもかかわらず、本来手本となるべき市役所の削減目標は市域よりも少ないものでした。

本市よりも人口も産業も多い横浜市や川崎市が2030年までの削減目標を50%としていることを鑑みれば、本市の2029年の適切な削減目標は45%から46%、2030年までに達成すべき削減目標も46%から50%まで引き上げて良いのではないかと思います。

また、今回速達で送付された審議資料などの通知もそうですが、メールで送付できるものは郵送での送付を可能な限り削減するなどしてペーパーレス化を推進すべきだと思います。

**■箕委員**

特に問題はありません。高い目標に向かって活動していきましょう。部会の設置も必要なことだと思います。

**■川久保委員**

2030年までに50%削減へ目標値を引き上げた場合、対策として例示していただいているLED化の推進では、いくら庁舎の中で照明用エネルギーの占める割合が高いといえども目標を達成できないと思われるので、今後速やかに追加対策を検討することが望まれます。

**■川名委員**

市役所事業所の目標設定につきまして、さらなる削減を目指すということで理解しました。また、達成見込みは、主に蛍光灯からLEDへの転換にて達成されるとのことが理由として記載されておりました。勿論それだけではないかと思いますので、記載の際は省エネ行動等のこともわかりやすく表現いただけますと有難く存じます。

**■高梨委員**

今回の削減目標の引上げは、気候変動枠組条約第28回締約国会議で採択されたGSTに関わる幅広い内容が明記、盛り込まれた決定文書を踏まえたものと思料される。

市として、総合的な施策をより積極的に推進するため、まずは市役所事務事業編の削減目標を引上げ改定することに、異存ありません。

目標達成に向けた施策の実施にあたっては、まちづくりGXなどの国の施策動向や技術革新動向等を踏まえ、より実効性を高めるよう取組んでほしい。

**■名執委員**

COP28の結果を踏まえ、市役所事務事業編の削減目標を引き上げるのは適切な対応だと思います。

新たに稼働した石炭火力発電所を抱える中で、市域施策編の削減目標をどうするか注視していきたいと思います。

■矢部委員

市役所事務事業について削減目標を高く設定することはよいことと存じます。ただ、市域全体として43%の目標に対して42%というのは他事業者に対して大きな要求をすることになり、ここで可能であれば43%にするのも得策であり、1%の上乗せについて検討すべきかと存じます。

<議題2>計画の見直し及び条例改正に係る部会の設置について

■飯島委員

資料3-2の部会名簿案の☆印が付されていませんが、部会長はこれから決定されるのでしょうか。

<その他>

他の出席委員については、確認・賛同・了承のみ（特段のご意見等は無し）。